

### めざす児童・幼児像

- ①知識やスキル、態度および価値観を身に付け、自ら目標を決めて学び、責任をもって行動することができる児童。
- ②さらに、その力を発揮することで、自分の個性を輝かせながら集団や社会に貢献できる児童。
- 幼(4歳児)遊びや体験を通して、自分の「やりたい」「知りたい」「楽しい」をもてる子ども。
- 幼(5歳児)友達と関わりながら、興味・関心を深め、主体的に考えたり行動したりできる子ども。

### I. 教育目標

子どもたちの笑顔でつながる共生社会(みんなのウェルビーイング)を目指して、多様性を尊重する共生社会の形成に向け、ダイバーシティ&インクルージョンの理念を大切にするとともに、幼児・児童一人一人の自己肯定感を高め、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を図る教育を推進すべく、教育目標(小学校および幼稚園)を次のとおりとします。

- 明るく 元気な子
- 温かい心で 力を合わせる子
- ◎ よく考え やりとげる子
- 自分の思いを 伝える子

合言葉

みんなちがって  
みんないい

自分らしく  
いきいきと

#### 重点目標 ◎よく考え やりとげる子

自分の考えをもち、  
獲得した知識やスキルを積極的に活用したり判断したりして、  
粘り強く課題解決に取り組もうとする態度を養う。

#### ◇幼稚園教育目標◇

人間尊重の精神に基づき、幼児にふさわしい環境を作り、豊かな経験を通して心身ともに健康で人間性豊かな幼児の育成を目指します。

- 心も体もたくましい子ども
- 心豊かな子ども
- 自分で考え行動する子ども

#### ◎幼稚園から小学校へつなぐ 育てたい10の姿

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

授業を通して、  
学級経営を！

### II. 教育方針

#### ◆教科の指導と生活指導の一体化を図る。

子どもたちが「自分も一人の人間として大切にされている」と感じる授業や、子ども同士がお互いに関心を抱き合う授業、意見発表や対話や議論の機会がある授業を進め、学級がこどもの「心の居場所」になることを目指します。

#### 学習指導と生活指導を一体化させた授業づくり「4つの視点」

- ①自己存在感の感受
- ②共感的な人間関係の育成
- ③自己決定の場の提供
- ④安全・安心な風土の醸成

### Ⅲ. 経営の重点(具体的な方策)

#### 1. 質の高い教育活動

- 学習規律の徹底 ○基礎的・基本的な知識・技能の習得 ○特別支援教育の推進(レインボールーム・5組)
- 市民科一貫プラン(探究的な学習) ○一貫教育の推進 ○算数習熟度別指導
- 特色ある教育活動の充実  
(ウェルビーイング教育、プログラミング教育、キャリア教育、大学との連携授業、インドネシア学校との交流)
- タブレットの効果的活用

#### 2. 発達支持的および課題予防的な生活指導

- 生活規律の徹底 ○挨拶・礼儀作法の重視 ○いじめのない学級、安心安全な学校風土づくり
- 「こどものやくそく」に基づく一貫性のある指導
- いじめ防止基本方針に基づく授業・対応
- スクールカウンセラー・巡回相談員・スクールソーシャルワーカー・ほっとすていしょんルーム支援員との連携

#### 3. コミュニティ・スクールを基盤とした連携

- PTA・一日野サポーターズ・同窓会・町会との連携
- 地域教育力の活用(学校支援地域本部の運営)



先生へのメッセージ

#### 4. 信頼される学校づくり(子どもと先生、双方がウェルビーイングになるように)

##### ①教員としての資質向上を図りましょう!

- ・校内研究・研修を授業力向上の場とし、各教科の指導法について研究を深めることを通して、授業改善と指導力向上を目指しましょう。
- ・週案簿に授業のねらい、学習活動、安全配慮事項、指導の振り返り、時数を記入して毎週提出してください。先を見通した意図的・計画的な指導を行いましょ。
- ・主幹、主任の先生方を中心に、組織的なOJTを実施し、先生一人一人が身に付けるべき力を高めましょ。
- ・初任者、2・3年次研修、校内での若手育成研修を充実し、若手教員の指導力向上を応援しましょ。
- ・各教科主任は、校外で学んだことを校内の先生に伝達研修を行って、全員が授業力向上を図りましょ。

##### ②教育公務員としての自覚と誇りをもちましょ!

- ・一人一人が教育公務員としての使命感をもちサービスを遵守するとともに、お互いに声を掛け合うことで、服務事故防止に取り組み、子どもたちの安全を守り、保護者地域の信頼に応えていきましょ。
- ・教育公務員として保護者地域から信頼されるよう、社会人としての身だしなみ、言動、来客者や電話応対などに努めましょ。
- ・報告・連絡・相談を密に行い、個人で問題を抱え込むのではなく、組織としてきめ細やかな対応を行える、支え合う学校組織にしましょ。

##### ③ライフワークバランスの推進

- ・子どもたちのウェルビーイングを希求するには、まず教職員がウェルビーイングでなければなりません。先生方一人一人がやりがいや自己肯定感を感じられる職場、活躍できる学校を一緒に作りましょ。
- ・教職員自身がライフワークバランスを意識しましょ。日々の生活の質の向上や人生を豊かにするための個々の時間は、よりよい人格形成をもたらす、ひいては教育の質の向上につながります。